

0-86

縣  
市町村之現狀

因伯時報記者  
吉田自在庵著





鳥取市川端三丁目



# 上但旅館

館主 但見與平

電話長一〇二番

鳥取市川端三丁目



# 新但旅館

館主 但見與二

電話長一〇二番



鳥取市川端三丁目



# 上但旅館

館主 但見與平

電話長一〇二番

鳥取市川端三丁目



# 新但旅館

館主 但見與一

電話長一〇二番



序

國家富強の基礎を確立せんとすれば、地方町村の富強を増進せざるべからず、町村は是れ國家の根本要素なれば也。

而して町村の富強を増進せんとすれば、教育に於て衛生に於ての開發進歩を計るは勿論、町村自体に於ける現在の位地、能力を自覚するを要す、現在は過去の繼續にして、將來は現在の發展なりとの至當なるべし、即ち現在に於ける町村經濟の事情を講究して致富の因を通曉し、商工にまれ、農事にまれ、之が改良發達を獎勵し、殖産興業を計劃して、居民の福祉を増進し、地方自治の健實なる進歩向上を期せざるべからず。

予輩は未だ町村貧弱にして、國家の強大なるものあるを望み、されば町村自体の位地、能力、責任を自知し、發展向上の道に進

人知  
自  
知



序

國家富強の基礎を確立せんとすれば、地方町村の富強を増進せざるを得ず、町村は是れ國家の根本要素なれば也。

而して町村の富強を増進せんとすれば、教育に於て衛生に於ての開發進歩を計るは勿論、町村自体に於ける現在の位地、能力、自治の將來の隆興進歩を劃策するに於て、現在の立場を明かにするの至當なるべし。即ち現在に於ける町村經濟の事情を講究して致富の因を通曉し、商工にまれ、農事にまれ、之が改良發達を奨勵し、殖産興業を計劃して、居民の福祉を増進し、地方自治の健實なる進歩向上を期せざるべからず。

予輩は未だ町村貧弱にして、國家の強大なるものあるを聞かず、されば町村自体の自体の位地、能力、責任を自知し、發展向上の途に進





まざるべからざるや論を、而して自体の位地、能力を他の町村に比較し、常に反省考察して、採長補短の策に出づるは當に務むべきの喫緊事なるべき乎、知友吉田君町村自治振興策に意を用ゆるや久しく、茲に「町村の現状」の著あり、一言を寄せて所懐を寫する所以也。

明治四十四年四月

於久松山下

因伯時報主筆 藤嶋愛泉

町村自治の附録、日頃お読みするに、  
本書編纂に際し、材料供給及び其他諸般の便宜と與へられたる  
第八頭郡役所北川君、氣高郡役所高田君の御厚意を深謝する、尙  
本書は匆忙の隙に編纂せられたるため、体裁内容ともに不完全を免か  
ざる所あり、此の点に就いては、近々改版に際し訂正増補す  
る積りあり、悪むらす乞御諒承  
此書刊行の、千々田村の更なる発展を期す、田村生民の必要の  
課目等の並べ置き、田村自治の發達並進の道を示す、田村の  
財本並に開闢し、其地更に盛んなることを期す、田村の  
自治の自治の興本なる、町村の事業を、町村の問題と、其

自 刊















岩美郡大岩村

ドチラかど云へば本村も漁業を生命とする方である然し田地は百六十餘町歩畑地は三十四町歩餘あるので、農産物總産額は年々四萬圓餘に達するが、其れに次いで漁業で年額貳萬圓であるをふた、兎に角生産の戸當りが約四拾八圓貳拾四錢弱であるので東村などに比すれば七八圓の高額となる村費は四千八百九圓餘で、村有財産は參千四百拾圓との事だ、村長石河和太郎君は村内の徳望家である、従がつて、村民が歸服してゐるから諸般のことも甚だ圓滿に解決されつゝあるとは誠に宜いことである、學齡兒童三百八十で就學歩合は九十九人強だから教育の成績も上等だ、青年會は新聞雜誌の購讀會を開き際が多い冬季多では盛んに利用されるをふたから、村内青年の氣風も推して知るに足るのである

戸人口  
衆議員有権者  
縣會議員有権者  
郡會議員有権者  
村會議員有権者

二〇四二  
三〇四三  
一五五五

同 同

村 長  
村 會 議 員

石 河 和 太郎  
稻 葉 德 次  
澤 勝 次  
大 熊 午 太郎  
中 西 熊 太郎  
石 河 和 太郎  
大 岩 村 千 代 蔵  
横 山 朝 蔵  
中 嶋 忠 蔵  
大 西 熟 實  
奥 田 周 蔵  
岸 勝 三 郎

(西)

先般弊店儀は屢々技術歐米式研究怠り無く最新式の形を以て體裁優美保存堅固價格低廉と主として製造仕候間何卒永遠に

御愛用之程偏に奉希願候

各地方ヨリ御注文ノ節ハ小包引替ニテ速達御送附申候



鳥取市大工町筋

小山靴店



醫療工業、化學用藥品  
生石灰及消毒用藥品  
度量衡器及電燈電鈴  
寫真器械及附屬材料

鳥取市大元工町

# 森田藥店

電話三十九番

## 岩美郡東村

本村は甚だ納税事績の悪い村であつた、が然し現村長小谷兼一君が就職して以來、頗る事業發達の機運に向い納税の事績は頗る良好にあつて村税未納者は全然皆無と云ふ結構を場合にあつた、是れ畢竟小谷君が凡てに熱誠的であることを證明する所以で、村民は多大な敬意を拂はなくてはゐるまい、戸數二百七十二戸、人口一千八百八十一名、村有財産は百貳拾九圓七拾七錢で一ヶ年の生産總額は七萬八千四百五拾貳圓に達し財産の一戸當は四拾壹圓強とある、學校建築に費したる三ヶ年以内債は貳百四拾五圓で四十一年度に返済すべきであつたが、一ヶ年を延期し翌年度に返却した、青年會は、熱心な村長と小學校長とが協力して専ら發達進歩を努めつゝあるので近時稍見るべきものとあつて來た

田 地  
加 地  
就 學 兒 童 數  
組 合 貯 金  
寮 員 有 權 者  
縣 會 議 員 有 權 者  
郡 會 議 員 有 權 者  
村 會 議 員 有 權 者

五二反四三  
五七〇〇八  
一  
五圓  
三  
三  
五  
二  
元

村 長	小 谷 兼 一
村 會 議 員	山 下 春 太 郎
同	中 垣 善 八 郎
同	田 中 大 吉
同	久 林 尚 寛
同	羽 田 友 三
同	寺 谷 德 藏
同	西 谷 傳 藏
同	寺 口 仁 太 郎
同	中 島 義 雄
同	中 島 大 吉
同	岡 本 富 吉
同	小 山 喜 藏



岩美郡東村

本村は甚だ納税事績の悪い村であつた。が然し現村長小谷兼一君が就職して以來、頗る事業發達の機運に向ひ納税の事績は頗る良好にあつた。村税未納者は全然皆無と云ふ結構を聯合にあつた。是れ畢竟小谷君が凡てに熱誠的であることを證明する所以で、村民は多大な敬意を拂はなくてはあらずまい。戸數二百七十二戸、人口一千八百八十一名、村有財産は百貳拾九圓七拾七錢で一ヶ年の生産總額は七萬八千四百五拾貳圓に達し財産の一戸當は四拾壹圓強とある。學校建築に費したる三ヶ年以内償は貳百四拾五圓で四十一年度に返済すべきであつたが、一ヶ年を延期し翌年度に返却した。青年會は、熱心を村長と小學校長とが協力して専ら發達進歩を努めつゝあるので近時稍見るべきものとあつて來た。

知地  
就學兒童數  
組合貯金  
來議員有權者  
縣會議員有權者  
郡會議員有權者  
村會議員有權者

五〇、〇〇八  
三、〇〇〇  
三、〇〇〇  
三、〇〇〇  
三、〇〇〇  
三、〇〇〇

村長	小谷兼一
村會議員	山下春太郎
同	中垣善八郎
同	田中大吉
同	久林尙寛
同	羽田友三
同	寺谷徳藏
同	西谷傳藏
同	寺口仁太郎
同	中島義雄
同	中島大吉
同	岡本富吉
同	小山喜藏







岩美郡津の井村

村長山田貞治君は新任後非常な努力を加へて事務上の改善を企てたので、近來メッキリ良くなつた、青年會は専ら貯金を旨として居るとのことだが或は下らぬ事業を起して、手を焼くよりも、寧ろ貯金の方が積極的で漸進的でよいかも知らぬ、道理で個人貯金としても既よ四百餘圓に達してゐるうた農産物の總價額は七萬八千參百五拾貳圓餘で村内の田地は二百六十一町六反餘である、學齡兒童數は二百三十四名で就學歩合百九十二人強だと云ふ、戸數二百九十七戸、人口一千八百七十名で有基本財産は壹千參百九拾參圓餘である

- 學校基本財産 三、六四圓六五
- 部落有基本財産 五、七六圓〇〇
- 衆議員有権者 五
- 縣會議員有権者 四
- 郡會議員有権者 三
- 村會議員有権者 一

岩美郡岩井村

「因幡の岩井」と謂へば、温泉場として頗る古い歴史を持つて居る、今日でこそ各地に温泉が湧いて、岩井々々と謂はない様だけれど、夫れでも猶昔しからの所謂御常客を吸引することは、チツとも變らぬ、一寸町屋風に建ち並んだ村の鹽梅の、矢張り多數の浴客を相手にして居ることを偲ばせる、戸數は三百七十五、人口二千九十一名で田地百九十五町三反餘を有し米其他の農産物は一ヶ年約四萬壹千餘圓に達するとうた村長岸本彌太郎君は大の敬神家であるから、従がつて其性格も眞面目の方で岩井村の發達進歩を眼目として、日夜奮闘してゐる、近來は郷社道路を改造すべく計畫中であるうたが敬神家の態度として相應しいことだ、學齡兒童數二百七十一人で就學歩合は九十八人強であるから富桑村に比すると稍劣る

- 村有基本財産 二、〇三圓六九
- 學校基本財産 四、三三圓九五
- 部落有基本財産 一〇、三三〇、〇〇〇
- 衆議員有権者 九
- 縣會議員有権者 二六
- 郡會議員有権者 二六
- 村會議員有権者 一三

村長	山田貞治
村會議員	福田梅吉
同	福田稔一
同	松田平藏
同	大橋萬藏
同	山田貞治
同	山田梅藏
同	池原益藏
同	谷口龜太郎
同	井上光美
同	棟尾喜代藏
同	漆原松藏

(八)

村長	岸本彌太郎
村會議員	松本兵太郎
同	松本仁
同	福山平次郎
同	岡崎常藏
同	難波半十郎
同	中原民藏
同	小谷藤藏
同	岸本彌太郎
同	宮本茂信
同	山本三郎
同	岡本惣次郎
同	山崎熊藏

(九)















地方諸官衙各學校御用

他店ヨリ町摩 = 取扱候



大勉強  
鳥取市本町二丁目  
橋鐵製靴店

岩美郡倉田村

此村の青年會は頗る振はない設置されて居ると云ふ迄で何等の効果と奏しないのは獨り村長竹内幾藏君の遣方如何に依る譯ではなくてはなくて村内青年輩の自墮落が大に其因と爲して居るだらうと想像する、只近來に至りて勤儉貯金の端緒を開き得たとは甚だ以て心細い次第ぢや田地は二百五十二町三反餘、宅地は十五町三反餘で、戸數は四百七十八戸、人口は二千九百一人である、村有財産としては六千四百八拾參圓七拾四錢九厘であるから面影村に比すれば相去ること甚遠い

山	林	四七反七〇一
原	野	四七、四二八
農産物總價格		九七、七三圓三三
工産物總價格		五二、〇六、九五
林産物總價格		二、一八、四八〇
水産物總價格		五、〇〇、〇〇
畜産物總價格		三、三三、〇〇

村長	竹内幾藏
村會議員	松尾令藏
同	小嶋定吉
同	竹内宗三郎
同	小松親三
同	西尾益藏
同	岡本週藏
同	前田甚太郎
同	山根富藏
同	森下峰藏
同	中尾政藏
同	前田甚次郎



岩美郡倉田村

此村の青年會は頗る振はない設置されて居ると云ふ迄で何等の効果を奏しないのは獨り村長竹内幾藏君の遣方如何に依る譯ではなきて村内青年輩の自墮落が大に其因を爲してゐたらうと思像する。只近來に至りて勤儉貯金の熾緒を開き得たとは甚だ以て心細い次第ぢや田地は二百五十二町三反餘、宅地は十五町三反餘で、戸數は四百七十八戸、人口は二千九百一人である。村有財産としては六千四百八拾參圓七拾四錢九厘であるから面影村に比すれば相去ること甚遠い

- 山林 三反七畝〇一
- 原野 四七、四二六
- 農産物總價格 九七、七三圓三三
- 工業物總價格 五〇、〇八七、九五〇
- 林産物總價格 二〇八、四八〇
- 水産物總價格 五〇、〇〇〇
- 畜産物總價格 三、三三三、〇〇〇

村長	竹内幾藏
村會議員	松尾令藏
同	小嶋定吉
同	竹内宗三郎
同	小松親三
同	西尾益藏
同	岡本週藏
同	前田甚太郎
同	山根富藏
同	森下峰藏
同	中尾政藏
同	前田甚次郎



岩美郡面影村

本村は總面積は二百七十餘町步で此内田地は二百五町六反餘町步である戸數は二百三十六戸、人口一千四百三十八人で、村有財産としては壹萬六千參百八拾八圓餘、組合貯金額は參千圓に達してるとふた、青年會は四十二年一月に創立され目下の會員數百五十五名で、通俗講談會、報徳幻燈會を開き缺席兒童出席方勸誘、共同苗代事業等に力を盡して居る、村長井關幸藏君は村内の門閥家で郡參事會員を兼ね縣會議員の野心がありそして頗る散財好きな人物である、一度市内に足を運べば、即刻マの字の傍を離れない先生だから村役場事務は餘り好成績ぢやあるまいが村内の評判は悪い方ではあるとのこと今少し眞面目に遣つて貰いたいのぢや

農産物産價格

100000000

工業物産價格

200000000

林産物産價格

50000000

水産物産價格

100000000

畜産物産價格

300000000

岩美郡田後村

戸數百九十六戸、人口九百六十三名で餘り大村ではない、學校有財産などは皆無だが、而も村長辻村泰造君の熱誠なる努力によりて村政は次第に發達しつつある、從來でも餘り悪い方ではなかつたのだが、上村君赴任以來銳意改善方法の劃策中であるから、前途は先ず以て有望であらふ、青年會は餘り活動しないけれども、さりとて全然眠つても居ない、郡内では稍成績佳良と認められてるとふた、村民と村當局者と一致して、勉勵したならば、一小村ではあるけれども、他の所謂大町村をして、顔色をからしむる程の發達を見ることを疑はない

村有財産

1,138,690

部落有財産

1,633,633

村長

(二四) 井關幸藏

村會議員

土井雄次郎

同

稻垣博愛

同

中山徳三郎

同

村上駒藏

同

井關重雄

同

大門虎吉

同

小林喜代藏

同

佐々木虎藏

村長

上村泰造

村會議員

吉田定藏

同

池添六藏

同

榊田澤十郎

同

松浜清次郎

同

松野竹藏

同

竹中新太郎

同

上村泰造

同

西山與平



岩美郡服部村

本村長前川義治君は、村長としての信望、手腕、品格がないので、餘り感心し難い人物である、本村は過去に於て、一ヶ年餘の間に三四名の村長交迭を見た、是れ即ち村内が不統一で圓滿を欠いで居る所以ではあるまいか、傳ふる處に據れば、現村長前川君が常に、其彼瀾の中心点であつたらしい、以て前川君の性格、態度を想像することが出来るだらう、而も前川君は遂に昨秋村長の當選はしたけれども、村民間の信用薄いがため、頗る苦肉の策を講じ、僅か一点の差を以て辛ふじての當選だ、處で、郡當局者は、前川君の當選を認可するに少なからざる日數を費やしたものだ、夫れ是れ綜合して見れば前川君の人物も、村内の現状も殆ど豫想に難くあるまい、青年會なすも、全く駄目だ、只其形骸を存するのみであるとは情ない話だ

戸数 二七〇  
人口 一、七〇〇  
村有財産 一、四〇〇、〇〇〇  
學校有財産 八〇〇、〇〇〇

岩美郡大路組合村

組合村ではあるが可成り大きき村である田地二百餘町歩、畑地二百二十餘町歩で、人口一千四百十四名、戸數二百四十三戸だ、農産物の一年産總額はザツト拾萬圓にも達する相だから村内も比較的有澤と云へる次第だ、學齡兒童數は二百三十六名で、就學歩合は九十八強だから、其方面は餘り宜い成績といへまい、村長雨川善造君は眞面目な性格の人である、従かつて、村政も他に比すれば眞面目に近い、青年會は稍見るとる發達を遂げて貰いた

村有財産 六五、八五五  
學校有財産 一、九四、九六一  
部落有財産 一八、二六、四〇〇

村長

村會議員

同 同

(二六)  
前川 義治  
若光 喜代藏  
米澤 房太郎  
横山 平治  
山根 多藏  
岸根 萬造  
北村 藤四郎  
井手野 助次郎  
井手野 芳次郎  
山根 文次郎  
前川 義治  
河本 庭造  
山本 莊次郎

村長

村會議員

同 同

大路村  
雨河 善藏  
中島 淺次郎  
堀内 喜八郎  
堀内 繁藏  
田中 竹造  
三戸古村  
岡本 國藏  
山田 薰治  
谷浦 光治  
竹本 勘四郎  
雨河 東之助  
雨河 榮藏  
渡邊 菊太郎  
武田 幸吉



岩美郡中の郷村

元來本村は常に兩派に分れて暗闘嫉視が絶へないもので、延いて村政の運用にも邪魔になることが多い現村長上根宜幸君は村内に於ては古顔の方で先輩連であるが例の黨派的關係上種々の非難を聞く、村長としての遺方に於て多少欠点は免がれまいが、兎に角問題を甘く鎮壓し程よき解決を付ることは、上根君獨特の手腕らしい、さあれ何時迄も村内にゴタゴタが絶へない様では困るから須らく一刀兩斷の處置を採つて今後紛擾の根本を除くとは、現村長には望まれない仕事であるだらうか？戸數百九十一戸、人口一千二百五十九人で農産物も工産物も水産物も相當に收めて居る三年以内債は四百八拾圓で學校舎の新築に費したものの四十參年度内に返却する豫定だそうた、青年會は餘り記すべき程の活動をせよ

村有財産 三三、〇〇〇  
 學校有財産 一、三三、〇〇〇  
 部落有財産 〇  
 市町村債 〇  
 衆議院有権者 〇  
 縣會議員有権者 〇  
 郡會議員有権者 〇  
 村會議員有権者 〇

岩美郡新宮組合村

本村が殆ど郡内模範村に近き好良なる村政を持続しつゝ、あるは殊に喜ぶべきあり即ち村治は頗る圓滿に發達し村内は常に協力一致の態度を守り村長太田直太郎君をして縦横に其手腕を揮はしむ只よ村内自治の圓滿なるのみならず村役場事務は遺憾なく整理され納税成蹊も他村に比して誇りとするに足れり加ふるに青年會は兩村とも佳良にて就中高野村ある高野育英會は小學校長の熱心ある助力あるとは云へ今日迄の進歩は村内青年が眞面目に其天職の向ふ處に奮進する覺悟の存在することを表現せるものならずや太田村長を始め小學校長等は飽迄斯道に努力を怠らざるの心懸け肝要なると同時に村民は一致的態度を破壊せず村青年を鞭達し青年は亦其向ふ處に突進せんか蓋し村治揚り眞正なる意味の模範村たるを得るの日は遠からざるべし

戸數 三三  
 入 三三  
 村有財産 三三、〇〇〇  
 學校有財産 一、三三、〇〇〇  
 部落有財産 〇  
 市町村債 〇  
 衆議院有権者 〇  
 縣會議員有権者 〇  
 郡會議員有権者 〇  
 村會議員有権者 〇

村長	上根 宜幸
村會議員	山根 常藏
同	武内 寅次郎
同	森下 吉藏
同	西村 重太郎
同	西村 傳藏
同	西村 芳藏
同	村上 善十郎
同	谷本 金次郎

村長	太田 直太郎
村會議員	高野 幸四郎
同	德永 又造
同	瀧山 賀藏
同	澤山 次郎
同	米山 長次郎
同	太田 甚藏
同	井土 藤藏
同	井田 藤藏
同	森田 福藏
同	新宮村 登次郎
同	加納 善四郎
同	加納 清次
同	橋本 清一
同	田口 芳十郎
同	中村 松太郎
同	奥田 貞五郎
同	出井 貞五郎



岩美郡蒲生村

本村概観を記せんとせば先づ教育成績及び青年會事業を特筆せざる可からず固より就學歩合の成績良好なるは實に本村に限られたる譯も非ずと雖學齡兒童數三百二十二名中只一名の猶豫者あるのみとは亦以て教育方面の指導獎勵が如何に完全に行かはれつゝあるかを知るべし、而して青年會は今次青年會館なるものを設立し馬場村青年會は基本財産の蓄積に努め目下頻りに造林計劃を試みつゝあり村民の意の在る處推想するに難からざるべし村民貯金が既に百餘拾圓に達せるは當然きりとす村長大森清四郎君は郡參事會員を兼ねたる人物にして、村長界も於ても稍認めらるゝ男なれば従がつて其村政手腕も淺からざるものあらん、努めて職務に怠らずんば他日の成功は眼前に存在するが如し

人口 一九三〇  
 村有財産 二〇、八四三  
 學校有財産 二、五六一  
 部落有財産 二、五六一

村長	大森清四郎
村會議員	川本喜一郎
同	大森清四郎
同	山本雄三
同	山添市太郎
同	山本喜太郎
同	川口敬次郎
同	山口茂一郎
同	寺垣元藏
同	平井豐吉
同	宮下惣四郎
同	山本鶴藏
同	平井久太郎







岩美郡浦富組合村

鐵道開通後の浦富は、岩井宿よりも其停車場に近接せる点に於て、不充分にもせよ海港と有する点に於て、遙かに優勢の地位を謂はなければならぬ、云ひ換へて見れば將來發達すべき餘地頗る多き本村であるのだが、依然として振はぬこと恐ろしいものだ、網代村と汽船の競争をぞして蝸牛角上のツマラメ争ひを追ッ初めるよりか、先ず御手許の整理を遣つて貰ひたい道路改修も時々實行せられるとふゝが目下の岩美驛に至る道路は一体如何のものでしよふか、要するに本村村治は萎微して揚らず役場の事務は全く暗黒に近いとの定評夫れから、村長中崎正敏君は全く無意味に村長の職に座して居るのだらふか、外部との折衝の爲に内部に手が廻り兼ねるのかも知れぬが夫れは決して無能職の譏を償い得る價値のない口實であるのだ、チットシツカリし給へ

戸人 數口  
村有財產  
學校有財產  
部落有財產

五、九七〇  
一、六〇三  
三、五五〇〇〇

村 長  
村 會 議 員

浦富村  
中崎 正敏  
高田 莊藏  
木山 市衛  
瀧田 清九郎  
澤田 信吾  
廣谷 彦次郎  
澤田 十太郎  
武田 久四郎  
油谷 福太郎  
澤田 虎藏  
澤田 泰雄  
山内 徳四郎  
牧谷村  
中島 喜十郎  
中嶋 源藏  
吉村 芳次郎  
福本 臺一郎  
山本 久米太郎  
福光 小次郎  
由澤 徳五郎

(三二)







岩美郡大茅村

村長岸本虎吉君は村治の上に餘りの功績を顯はさずと雖而かも熱心なれば村内の評判餘りに悪しからず、手腕のりと云へば徒らに平地に波瀾を起す底の人物よりも、寧ろ岸本君の如く平々厩々のうちに村治を進むる方將來の得策たるは發言する道もなし、而も學校有基本財産の貳千參百四十八圓四拾五錢六厘を有するに見ても村内の事情を察す可く只青年會か聊か心細き現狀を維持しつゝあることに就いては岸本君は固より此の如く村民一同の反省願慮を要する次第なり

戸数 一〇〇  
人口 二〇〇  
村有財産 一〇〇〇〇  
村有負債 一〇〇〇〇

岩美郡上舟組合村

田地百七十七町二反餘、畑七十八町五反餘を有する本村は農産物に於て年々四萬餘圓、工産物に於て九拾餘圓を擧げつゝある、戸數三百九戸、人口二千三十六名であるので、生産の一人別當りにザツと參拾貳圓餘である、村費は六千八百九拾壹圓八拾七錢六厘である、一戸別割高は六圓八拾六錢四厘で、學齡兒童數は二百三十二名だが、其就學歩合から云へば、矢張り男子の方がよい、村長井土垣政造君は目下郡會議員を兼ねて居る身だから郡内の村長連中では比較的矢筈敷し部類に屬するろふだが村政の方は餘り元氣を出さぬと見へる、現に今回も繰替支出に關して職務怠慢の致す處として譴責を被つて居る、何でもまい様なことが、以て全股を推すことが出来るなら、又青年會などもテンでか話しまからぬじやないか、モット眞面目に力瘤をに入れて貰はねば甚だ前途を悲觀せざるを得ない

村有財産 一〇〇〇〇  
村有負債 一〇〇〇〇  
村會議員有權者 一〇  
郡會議員有權者 一〇  
村會議員有權者 一〇

村長	岸本	虎吉
村會議員	北村	幾太郎
	岸本	虎吉
	太田	文藏
	岡本	光重郎
	岸本	竹藏
	小林	友藏
	野津	彌之藏
	森原	光稔
	山本	利二
	野村	勝藏
	野村	松太郎
	米山	爲藏

村長	井土垣	政造
村會議員	松川	金六
	入川	龜藏
	井土垣	政造
	山田	竹五郎
	小谷	留藏
	松川	平一
	福田	榮次郎
	岡垣	常藏
	湯谷	市次郎
	田中	鹿造
	中島	庄市
	御砂	庄五郎
	霜村	伊勢松
	大塚	長太郎











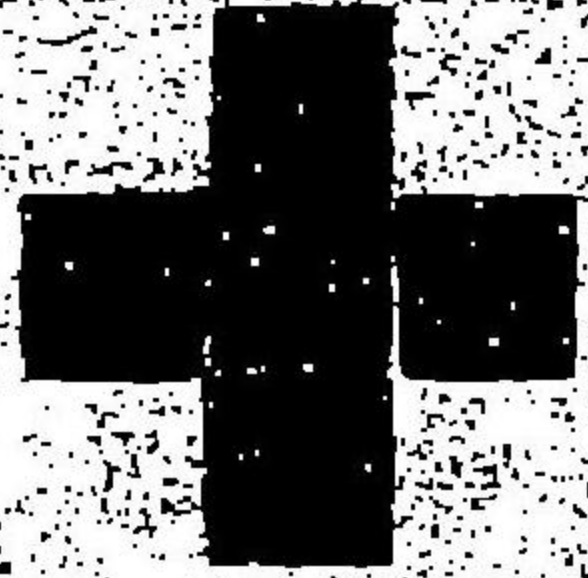








皇太子殿下御買上の榮と賜ふ



# 赤十字鑛泉

一藥萬能

赤十字鑛泉山陰道特約本舗

鳥取市川端四丁目

三村博愛堂本店

西伯郡米子西倉吉町局前

博愛堂西部支店

鳥取市若櫻町川端一丁目

博愛堂第一支店

岩美郡東部特約大岩村岩本

博愛堂

八頭郡西部特約店河原宿

米澤出店

## 八頭郡中私都村

協力一致は諸般の事業に缺く可からざる資格にて村政の進歩と向上を計らんとする上に於ても協力一致は必須の條件なり然も本村に至りては常に土井、田中の兩派に分れ双方鎬を削りて苦肉の策を採りつゝあるを以て村政は十年一日の如く進歩せず兎角消極的に流るゝは當然ならずや村長岡垣新藏君は即ち土井派に屬し事起る毎に敵派と相争ふの醜体を演ずるは苦々敷現象とす、而も茲に滑稽なるは村有力者としては兩派鬭ふと雖、一朝富者對貧者の關係問題惹起せんか昨日の敵は今日の味方となり富者は一團とあつて貧者階級を苦めつゝある事なり、要するに富者の跋扈する處にして、現に民等位數を決定したる際に於ける富者の態度は、宛として往時無情の大名が下民の膏血を絞るに彷彿す、村治を蕪微して生氣なき亦所以ありと請ふべし

就學兒童  
本年度豫算  
決算殘金

三歩冷丸人三  
一九二六年度  
一三、七六

村長	岡垣新藏
村會議員	河上甚次郎
同	河上甚次郎
同	岡島増次郎
同	山崎竹次郎
同	田中傳三郎
同	田中傳三郎
同	衣笠音藏
同	平尾松藏
同	土井壽加藏
同	土井辰太郎
同	衣笠房藏
同	岡島千代藏
同	熊澤千代藏

戸口數  
田口數  
畑地數  
村債額  
生産總額

一、五七  
一、三〇八  
一、〇〇〇  
一、〇〇〇  
一、〇〇〇















八頭郡土師村

屍体は鞭つ譯では無いが、昨年岡山大演習に際して自殺を企てんとした陸軍中尉石谷房吉君は本年一月迄本村長であつたのだ、學識はあつたが何分軍人風の吹かし方が嚴しいので、否在職中常に不正義派に加擔した傾きがあつたので村民の氣受は悪かつた、後任米井善藏君は郡參事會員であり比較的膽力ある代りに仲々酒色の豪傑だから餘り感心する人物でない、斯かる有様だから村内振はざるを夥たしいものに従がつて人情は薄く田地百九十三町歩餘農産物總額四萬七千百參拾八圓餘に達するにも拘らず貧弱な村だ、今後の發展は必ず村長の選任宜きを得なければ到底見込かない、青年會も設立されてはあつたけれど前途の有望は認め難いさうながら何時迄も此混亂状態で放棄する譯には參るまいから村民は大に覺醒して、先づ村内二派の感情を融和し續いて村統率者を始め以下の吏員を良選し事務の改善とともに風紀の頽廢を矯正し積極的事業を起さなければ成まい

村有財産  
部落有財産  
學校有財産

三、〇〇〇圓  
一、五〇〇圓  
三、五〇〇圓

八頭郡大御門村

八頭郡村長界の八釜敷家の隊長石破市造君は實に本村長であるのだ何の問題に逢着しても、議論を追ッ始める處頗る元氣なもので、先づ以て一名物たるを失はぬ次第ぢや、然し石破君は議論を遣るだけ何處となく動かす可からざる強硬な意志がある、凡々たる盲従の徒でないから、村民も君の發洩たる手腕に負ふ處が少くない、目下大門村と大御門村との間に軋轢があるが、それは小學校位置を大門村に奪つたからであると思へる大御門村會議員は現村長の拾捨宜しきを得ないのであるとして、内々石破君の排斥運動に努めてゐるといふが、之れでは困つたものだ、思ふに石破君が暫く現職より遠かつて村有志中より村長を撰出する事が、時宜の策かも知れぬ、然し勇氣ある石破君を引退させることは却つて一村の損失であることも省みる必要がある、助役としての野田君は頗る努力してゐるらしい

村有財産  
部落有財産  
學校有財産  
本年度豫算  
決算

一、〇〇〇圓  
六、〇〇〇圓  
八、〇〇〇圓  
三、五〇〇圓  
二、五〇〇圓

本年度豫算  
人口

村長	米井善藏
村會議員	和田長十郎
同	谷口豐次郎
同	細田平次
同	山本吉藏
同	谷口菊次郎
同	浮田慶次郎
同	佐々木平吉
同	谷口拙藏

(三四)

三、〇〇〇圓  
一、五〇〇圓  
三、五〇〇圓

村長  
村會議員

村長	石破市造
村會議員	平木竹藏
同	平木熊藏
同	岡崎余藏
同	下田甚三郎
同	平木金藏
同	梅田龍造
同	細田芳次郎
同	平木勇次郎
同	福波莊次郎
同	野田力藏
同	石破定藏

(三五)











男用東京小間物商

智頭街道筋

花岡正札店

電話五二

嫁入道具一切  
化粧品色  
金銀製品  
各種品

八頭郡丹比村

八頭郡丹比村

面積二方里三四にして戸數五百八十二戸、人口三千四百八十七名であるので、町村としては郡の中で廣く大きな方に屬する、マシロの山田村長と謂へば村長中の利者で一寸話せる男である。そふだが其性格は餘り感心しないこのこと然し今日迄泰然として地方に重きをなせるは察い處があるに違いない教育上の設備も稍完全し、就中青年會に至つては嶄然として凡を抜いてる處。山田君轉旋の賜で、名は淺太郎でも、其實は總てに淺太郎であるとは喜ぶべしぢや不就學兒童數も少なく僅かに五名と嘘の機である但し學校基本財産としては壹厘も御座無く候間左様御承知下され度候

作付段別  
一年米收穫  
就學兒童數  
町村基本財産  
部有財産  
本年度決算  
昨年度決算  
諸税負擔一戸當

一四七町六  
七、七三石  
七、七三石  
七、七三石  
七、七三石  
七、七三石  
七、七三石  
七、七三石

村長	山田	淺太郎
村會議員	松葉	秀藏
	以後	周藏
	長砂	林次郎
	太田	益藏
	田中	政一
	中林	龜藏
	前田	金太郎
	杉原	財次郎
	西尾	熊五郎
	小林	莊吉
	西村	辰藏
	大平	竹藏



















氣高郡

面積三十四方里二五よして三十二ヶ町村に分區されたる氣高郡は因幡各郡では最小數であるけれども一方海を控へ一方山岳を負ふて郡内に平地多く前途は甚だ有望である、郡長西村重久君は鳥取警察署長より轉任して未だ日は淺いが、頗る着實に郡政に當つて居る、其警視上りの故を以て、或は風采揚らざるの故を以て將た亦言辭圓滑を缺ぐの故を以て、彼を非難するのはチト氣の毒であらう現住戸數九千八百一戸、同人口五萬二千八十二人であつて、衆議院選舉有権者一千六百九十一名、縣會議員選舉有権者二千五百八十二名で青年團體は二十二個を組織し郡有財産として貳千參百拾九圓、市町村財産は拾四萬六千參百九拾六圓を有して居るから一町村平均四千四百參拾六圓に當つて居る、其他の統計は次の如くである

本地 價 一、九六、三三圓七  
 本年産 價 一、三〇、二二圓  
 内 建 價 一、七〇、二〇圓  
 市町村債 價 一、七三圓  
 其他敷物證券 價 一、七三圓  
 完、八三、〇九六

郡長	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議長	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
參事會員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
副議長	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡	有	上	加
郡會議員	西	鈴	三	奧	奥	小	原	山	田	中	植	青	堀	原	三	北	石	木	岡			







弊亭儀多年料理屋營業中は尠からぬ諸賢の御高  
 庇と蒙り日増繁榮に越候段有難く奉存候

今回御客様の御勸めに依り從來の料理屋業と廢  
 し新たに**小二旅館**と改名し旅館開業仕

り候間今後一層懇切丁寧と主とし太勉強致し候  
 間何卒舊に倍し御引立御愛顧の程願上候 敬白

鳥取市本町壹丁目  
 遷喬學校前

小二亭改め **小二旅館**

電話二七一番

氣高郡逢坂村

部落有財産の統一と云ふことは、各町村で唱導  
 されることであるに拘らず其實行は仲々以て六  
 ケ敷い、本村は即ち卒先して此問題を解決した  
 村で此點に於て郡中の模範であつて村當局者と  
 村民との和衷協同を賞せなければならぬ、約八  
 十餘町歩より生ずる利益は一村の收入として保  
 管することとなつて居る、村長中島文藏君は郡  
 會議員で熱心家である、村會議員は何れも一致  
 して一村發達の爲めに盡瘁して居る、からして  
 諸般の事業は頗る進まり易く、村内の圓滿は理  
 想的の現状を見つゝあるので、大に村治の發達  
 を期待して差支へかゝい譯だ、小學校も遂に二  
 校を一校としたが他村の例から云へば苦情百出  
 紛々として容易に解決しないけれども至極御手  
 輕に解決した、財政状態は甚だ好望で納税成績  
 に至りても固より悪からず苦はあゝ、願くば永  
 遠に、此形態を持續して貰いたいものである

人口 一五三  
 戸數 一三三  
 村有財産 一、三六、九三  
 學校財産 一、三三、三三  
 部落有財産 一、三三、三三

村長	中嶋文藏
村會議員	井上孝喜
同	中原清藏
同	田中捨藏
同	山口秀藏
同	山本壹
同	中原要三郎
同	森本喜八
同	森本勇藏
同	田中信一
同	田中龜太郎
同	谷尾清一



舞高郡逢坂村

部落有財産の統一と云ふことは、各町村で唱導されることであるに拘らず其實行は仲み以て六ヶ敷い、本村は即ち率先して此問題を解決した村で此點に於て郡中の模範であつて村當局者といふ村民との和衷協同を實せなければならぬ、約十餘町歩より生ずる利益は一村の收入として保管することとなつて居る、村長中島文蔵君は郷會議員で熱心家である、村會議員は何れも一教して一村發達の爲めに盡瘁して居る、からして諸般の事業は頗る纏まり易く、村内の圓滿は理想的の現状を見つゝあるので、大に村治の發達を期待して差支へかきい辭た、小學校も遂に二校を二校とし、他村の例から云へば苦情百出紛々として容易に解決しないけれども、至極御手輕に解決した、財政状態は甚だ好望で納税成績に至りても固より悪からず、答は、願くば永遠に、此形態を持續して貰いたいものである。

人口 1,150  
 戸数 215  
 村有財産 1,250,000  
 學校財産 2,500,000  
 部落有財産 3,750,000

村長	村會議員	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
中嶋文蔵	井上孝喜	中中原清蔵	田中捨藏	山口秀藏	中原秋藏	中原要三郎	山本壹	森本喜八	森勇藏	田中圓一	田中	田中	谷尾清一							























鳥取市本町三丁目

電信略號

理化學器械  
紫雲、運動具  
内外文具具

山本尙友館

電話三三番  
旅社附、口座  
大野九〇三五番

國定教科書販賣所鳥取縣代理店

日本教育生命保險株式會社鳥取代理店

度量衡器販賣所

氣高郡海徳組合村  
蒲野部

民等位數の不公平は必ず村内を紊亂し疲弊せしむるものあり、本村が從來納税成績頗る悪しく紊亂に紊亂を重ねつゝありし所以のもの畢竟民等位數の公平を缺きたるか爲なりき、村長山名文藏君は舊保守黨時代に於ける元氣者にて豪膽なる人物なれば任に就くや頗る強硬の意志を頭平たる態度もて位數の改正を實行せんとしたるが村内一部の紛擾は此導火線によりて火蓋は切られ喧々轟々として暫しは底止する處を知らざりしも遂に山名君の勝利に歸し首尾よく目的を達したれば、村内の紊亂も日一日と整理の緒に就きつゝあるは喜ばし、戸數三百三十六戸、人口二千四百三十二名に達せりと

村有財産  
學校有財産  
部落有財産

三三番  
大野九〇三五番

村長 山名 文藏

村會議員 菅 蒲 村 來 藏

同 中 島 菊 藏

同 田 中 米 藏

同 堀 尾 徳 三 郎

同 海徳村 宮 昭 吉 太 郎

同 中 本 熊 藏

同 宮 崎 油 太 郎

同 桃 木 伊 藏



氣高郡海徳部組合村

民等位數の不公平は必ず村内を紊亂し疲弊せしむるものあり、本村が從來納税成績頗る悪しく紊亂に紊亂を重ねつゝありし所以のもの畢竟民等位數の公平を缺きたるか爲なりき、村長山名文藏君は舊保守黨時代に於ける元氣者にて豪膽なる人物なれば任に就くや頗る強硬の意志を頑乎たる態度もて位數の改正を實行せんとしたるが村内一部の紛擾は此導火線によりて火蓋は切られ喧々轟々として暫しは底止する處を知らざりしも遂に山名君の勝利に歸し首尾よく目的を達したれば、村内の紊亂も一日と整理の緒に就きつゝあるは喜ばし、戸數三百三十六戸、人口二千四百三十二名に達せりと

村有財産  
學校有財産  
部落有財産

三三〇圓  
一、八二五、〇〇〇

村長	山名文藏
村會議員	菅蒲村 三 村來藏
同	中島菊藏
同	田中米藏
同	堀尾徳三郎
同	海徳村 宮 昭 吉太郎
同	中本熊藏
同	宮麻 仙太郎
同	桃木 伊藏



氣高郡千代水村

現村長平尾藤三郎君の赴任以前は随分困難な矢  
 笠敷い村であつたが、平尾君の時代とあつて漸  
 々改革され進歩されたことは疑ふ餘地もない、  
 だから村民と村長との折り合いは甚だ圓滿で凡  
 て村長の施設方法等に關しては出來得る限り協  
 賛して事業の進行に努める學校の新築も平尾君  
 着任によりて具體的となり、隔離病舎も、亦平  
 尾君によりて、新築されることになつた、平尾  
 君の手腕が然く凄く譯ではない、只着實に熱心  
 に村の爲めに努力すと云ふ人があるからであら  
 ぶ、村の前途も何となく輝きを示すのは、甚だ  
 心地がよい、何卒此上永遠に斯る心掛けで、共  
 力して村治の効績を擧げて欲しいものだ

戸数 人口  
 村有財産 七二二圓二角  
 學校有財産 三三三  
 部落有財産 六一〇〇

村長	平尾藤三郎
村會議員	深田仲藏
同	森本辰藏
同	森本代吉
同	森本富藏
同	木下矢太郎
同	山形鐵藏
同	坂本藤吉
同	木下愛男
同	松本政吉
同	濱橋松次郎
同	宮本又三郎
同	米澤勇次郎

氣高郡賀露村

戸數五百三十戸、人口三千三百十名であるから  
 漁村としては頗る優勢な村であるけれども過去  
 數年間の村内の紊亂は名狀し難い位に猛烈なも  
 のであつた、或は七八年間の村税滞納者あり或  
 は公金費消者現はれたるをぞ慘憺たるものであ  
 つたのだが現村長水原平太郎君が任に就いてか  
 ら大々的整理を試みた、一体水原君は左程の疎  
 陶家ではないけれども、ドチラかと云へば、評  
 判のよい人間であるので、財政の紊亂を根本的  
 に整理せんとして多少の非難も湧いたけれども  
 爾來着々として、好果を收めつつある、現に學  
 校問題なども、餘程矢笠敷うつた様子であつた  
 が、夫れも兎も角纏まつて今日では前途に一條  
 の光明を認められる様になつた、水原君の勇氣  
 を出した賜とし、村民は今後大に眞面目に稼が  
 なければならぬと思ふ、

村有財産 三三三圓  
 學校有財産 一  
 部落有財産 一

戸数 人口  
 村有財産 三三三圓  
 學校有財産 一  
 部落有財産 一

村長	水原平太郎
村會議員	林龜藏
同	柳澤松太郎
同	鹽谷文一
同	濱尾庄藏
同	石黒周藏
同	三好清五郎
同	有田由太郎
同	濱岡吉太郎
同	諸寄平造
同	廣澤石造
同	田中清太郎
同	宮田音太郎



氣高郡湖山村

村長上山源藏君は、資産に於て中流以下に属すと雖人物としては相當にて而も未だ前途春秋に富めるを以て従かつて賭博の問題に稍生氣ありされど村役場事務上に聊か物足らざるあるは甚だ惜ひべし、本村の尤も誇りとすべきは基本財産蓄積にして、數年前五十年計劃を以て約壹萬圓の基本財産を作る可く協議し年々參百餘圓を蓄へつゝあり之れ村内に收入多く富有の然らしむる處なりと云へども亦以て村民の意嚮を察するに足れり村治は圓滿に進み協力一致して最後の美果を收むることに心懸けたならば郡中の模範村たるに至るは明かならん切に將來の向上發展を希望す、人口一千八百二十五名、戸數三百九戸にして海濱の村落としては全体に於て進歩の跡を認む

村有財産

學校有財産

部落有財産

一五、四、四、五、六

氣高郡小懸河村

云ふ迄もなく本村は本縣より表彰された村である何か故に表彰されたかど云ふことは今更めて喋々する必要あるまい、村治の發達良好であるが故であるのだ、村長三谷富藏君は人物としては左程でもないけれども然しなから村治上の熱心があつたものか此名譽と獲得した、目下三谷君は縣會議員で近來稍其名を聞かれることはなつたが、然し未だ其所謂最後の名譽を得る迄には遠からふ、兎も角今後飽く迄も其道に盡して貰いたい、多く世間には實例があることだが一度模範村として表彰された村で爾來數年の後全く模範村たる價値を失墜して終ふものがある、之れは村民が漫心する結果でもあらふが其當局者が次第に誠意を缺き放任主義に陥るからであるもの、様だ、之れでは薩張り事にあらぬ、中堅人物たるものが放縱となり村務を棄て、顧みないでは再び芽の咲くことは絶對に不可能である様ぢや、特に三谷君に此点を望んで置く

戸口  
村有財産  
學校有財産  
部落有財産

一、六、〇  
三、五、三、〇、〇  
一、四、五、四、〇、〇〇

村長	上山源藏
村會議員	村上三太郎
同	影井文三郎
同	佐竹吉藏
同	田中永治
同	田中松藏
同	堀内強哉
同	奥村勘太郎
同	木下徳治
同	上山源藏
同	上山昇
同	上田多七

(五六)

村長	三谷富藏
村會議員	池原友市
同	土橋善九郎
同	三谷十次郎
同	田中鐵藏
同	野藤萬藏
同	野藤萬藏
同	國森藤吉
同	遠藤台藏
同	中田富十郎
同	福安源三郎
同	倉益啓次郎
同	前田新四郎
同	三谷富藏

(五七)



●●●●●●●●●●  
氣高郡 明治組合村

村政の發達、若しくは村民間の圓滿が必ずしも村長の人物如何に依るものならざることば贅言する迄もあられど、然しをがら村長たる村會同者の手腕如何によりて村内の平和は或程度迄維持さる可く村治の發達も亦村長の如何に關係することは決して少からず、本村長山根力藏君は手腕、人物、學識の方面より見て餘りよ上出來の人に非らざるか如し、さりながら今日日本村内か比較的能く收まり役場事務が割合に甘く遣られつゝあるあり、之れ山根君のために非ずして實に助役の手腕たるか爲ありとす、云い換ふれば山根君は床の置物より過ぎずして、其實際上の仕事は凡て助役によりて經營され案配されつゝあるあり、山根君たるもの大に心せざる可き事あらずや固より村長の職務たる餘りに小刀細江を弄すべき性質のものに非ざれどもさりとて只虚信を擁して得々たるは男子の恥辱とす、折角村長たりし以上は出來得る限りせめても熱誠なかる可からず、

戸数  
人口

三三  
三三

●●●●●●●●●●  
氣高郡 豊實村

村長大塚松次郎君は鳥取銀行に關係ある身おれば絶へず出鳥して銀行事務を見つゝある次第おれば或場合に於て村治に熱誠を缺ぐとの譏を免れざるべしと雖も其猛烈なる精神は常に村政の上に注かれ村の進歩と便宜に就いては苦心しつゝあるもの如し、其一例を示さんには昨年度より着手したる新設道路工事は本年に繼續實行の運とあり居れるが之れ前村長の失敗更迭を促したる最大原因にして該問題の纏まらざりしかために實に前村長は退職の餘義なき場合とばかりしかり、然るに大塚君は熱心頑強なる意志のもとに遂に本問題を解決し今や一道の直路は交通民の甚だ便益を感ずることよはあれり大塚君の勇氣を多とせざる可からざるあり、こは單に一例に過ぎざれども亦以て村長の施設を想像し得べく、村民は大に諸般の点に顧慮して細心發達を期すること肝要をあらめ

戸数  
人口

二六  
一六〇

村有財産  
學校有財産  
部落有財産

七五、五〇〇  
四一六、九三〇  
七、五六、五〇〇

村有財産  
學校有財産

八六〇、〇〇〇  
七三、五〇、〇〇〇

(五八)

村長	山根力藏
村會議員	明治村 西村善六 竹内熊太郎 宮本忠藏 加藤賢三 坂田竹藏 高橋儀三郎 坂口傳十郎 與田源藏 中本儀三郎 稻村久藏 加藤新太郎 藤原八十八 藤永茂藏 德澤根力藏 山根力藏

村長	大塚松太郎
村會議員	岡本安太郎 玉野造酒藏 岸本伊勢松 水本清藏 渡邊金藏 山本萬藏 德田善藏 細田源三郎 菜引彌壽造 前田源藏 谷口友吉 大塚松太郎

(五九)



●●●●●●●●●●  
氣高郡勝部村

本村の誇りとすべしは徴税成績であらふ、郡中本村に優る徴税成績を収めて居る處はないのぞ之れは村長植田國吉君の努力に限つた譯ではあるまいが、然し村長の施設方針の如何にも多大の關係があると云へる、植田君は郡會議員であつて、一見識を有する人物である、一村を統御し行く手腕を有する人物である、であるので、一村内の折り合ひは至極圓滿である様だ、現に學校建築案並に隔離病舎新築案の如き常に何等の反對もなく波瀾もなく易々として成立してゐるに徴して全般を推想することが出来るだらふ、只に植田村長か然るのみならず本村役場は助役以下何れも相當な手腕家許り寄り集まつて居る先づ以て結構な村であると云へるだらふ、青年會も軍人會も夫れ／＼活動してゐるから、一口に云へば諸般の村政は遺憾なく進行しつゝある村であるといふても餘り大した誤りはあるまいと思ふ

戸数  
人口  
村有財産  
校有財産  
部有財産

(40)

三三三  
三三三  
三三三  
三三三

村長	植田國吉
村會議員	中林直治
同	長谷川榮松
同	尾崎重平
同	窪田房五郎
同	長田常七
同	遠藤正藏
同	池田定三郎
同	植田國吉

●●●●●●●●●●  
氣高郡末恒村

本村長鵜戸口清五郎君は町村制實施以前から引續いて現職に従事して居る身である、之れを以て氏の人となりと想像することは出来る次第であるのだが、然しながら事務上のことは餘り上等の方に屬しない、冷淡さど一口に云ふ場合でもあるまいが兎も角役場の事務は昂らぬ方である然し夫れかために村内に不評を購ふ事なしてをことは毛頭ないので、村内は云はゞ平和の状態を持續して居ると云ふて差支へがない、近來貯金組合なるものが、設けられて村民一同は貯金に努めて居る、之れが現村長の盡力に依つて出来上つたもので、鵜戸口君の奮闘の賜であるを申し上げてよからふ、元來貯金なるものは一般其必要を認めて居るには相違なく、又貯金して如何ある効果があるかと云つた様なことは殆んど知らぬものはあるまい、夫れ程迄に必要をすることであるに拘らず多數は此貯金が出来ないのである、であるが本村が既に貯金額も相當に出来たこと、は獨り村長の努力のみではなくて村民の氣質がよ

村長	鵜戸口清五郎
村會議員	竹本清五郎
同	竹本愛敬
同	竹本相親
同	田中俊次郎
同	三橋久藏
同	三橋豊藏
同	小栗平藏
同	安沼藤三郎
同	佐々木虎藏
同	稻中庄三郎
同	田中勘太郎
同	安達久藏

人口  
戸数

元六  
元七

(41)











明治四十四年六月三日印刷  
明治四十四年六月八日發行

(定價參拾錢)  
(郵稅貳錢)

編輯兼發行人

吉田

威

發行所

鳥取市御弓町五十番地

獨立

社

印刷人

鳥取市東町五十五番次一

吉田

得

印刷所

鳥取市東町五十五番次一

吉田活版所

鳥取市

平木久松堂(振替大坂八二六五)山本尙文館(振替大坂九〇三五)

橫山(振替大坂四二六八)靜觀堂、博進堂、嶋田群鶴堂

倉吉町 德岡書店(振替東京六三〇五)倉都精華堂

米子町 今井郁文堂(振替大坂三〇八二)木村玉文堂(振替東京三〇四九)

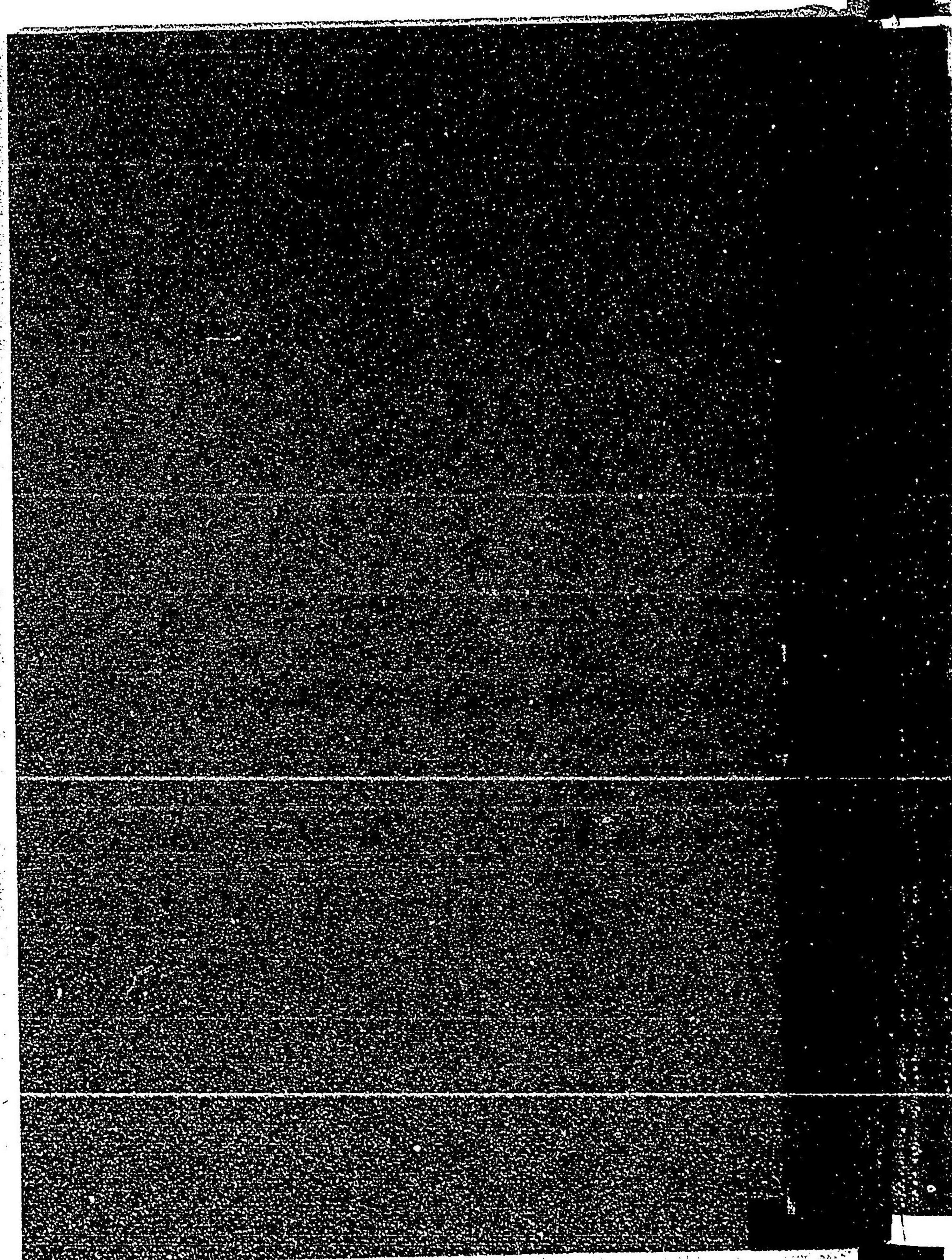
林下賣捌所



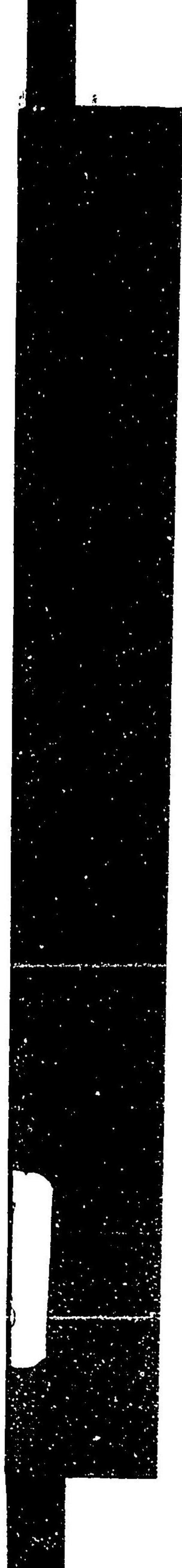


C-46











縣下市町村之現狀

吉田 威

国立国会図書館

025843-000-8

特47-815

県下市町村之現狀

吉田 威/編

M44

ADC-3396



特  
8



